

はじめに

平田 直（プロジェクト総括／東京大学地震研究所 教授）

首都圏レジリエンスプロジェクト（forR）の中で運営しているデータ利活用協議会は、本日で本年度3回目です。本年度は2年目なので、これまで6回ほどこのようなワークショップを開催しており、本日も、首都圏を中心としたわが国のレジリエンス力向上のためのさまざまな取り組みを皆さまと議論する会にしたいと思っています。本シンポジウムは、これまでは社会科学的な研究や理学的な研究のワークショップを多く行ってきましたが、今日はforRプロジェクトの三つの研究グループのうち、サブプロ（c）が中心になって企画しているため、どちらかという工学的な発表が多いのではないかと思います。

これまでこのワークショップには大勢の方に参加していただき、その中でデ活の正式会員を募ってきました。幸いなことに、これまで12の個人、50の企業・団体の皆さまに正式会員になっていただきました。立派な会員証を作っていますが、実はその製作が遅れており、まだお手元に届いていない方がいると思います。大変申し訳ありませんが、もうしばらくお待ちください。それから、今日、参加していただき、この活動に参加してくださるという方は、事務局に申し出ただけであれば、厳正な審査の下、デ活会員として正式に認めさせていただきたいと思っています。

このワークショップの他に、少しずつではありますが、企業の皆さまと個別に協定や覚書、共同研究の契約を結び、研究を進めています。東京ガス様とは昨年、覚書を取り交わし、データを提供していただけて研究を進めていますが、その他にも個人の住宅やビル、あるいはそこにある設備にセンサーを取り付け、そのデータを防災に活用している企業の皆さまと協定や覚書を取り交わしているところです。私もは慣れていないので、正式な協定や覚書の取り交わしに時間がかかっていますが、徐々にそのようなことが進んでいます。最近ではUR様と防災科研で包括的な協定を結び、その中でデ活の活動を進めていきたいと考えています。データを提供してくださる団体がいらっしゃれば、ぜひ個別にお話しさせていただければと思います。今日は主としてE-ディフェンスの話がありますが、その他、防災科研の研究におけるさまざまな資源を皆さまに提供していただき、われわれとしては、むしろ社会がどういう研究を必要としているかという検討を進めていきたいと思っています。

内閣府がPRISM(Public/Private R&D Investment Strategic Expansion Program)という新しいプロジェクトを始めました。このPRISMでは、さまざまな分野の研究開発が行われていますが、その研究テーマの一つに「革新的建設・インフラ維持管理技術／防災・減災技術」というのがあります。デ活の活動と非常に密接する研

究分野であり、今後、皆さまと、この PRISM の成果についても共有できればと考えています。

本日は有益な議論ができることを期待しています。何とぞよろしくお願いいたします。